

「どのように学ぶか」という学びの過程を、「カリキュラム・マネジメント」を通じて組み立てていくことが重要になります。また、学習指導要領を、子供たちが身に付ける資質・能力や学ぶ内容など、学校教育における学習の全体像を分かりやすく見渡せる「学びの地図」として、教職員だけでなく、子供自身が学びの意義を自覚する手掛かりとしたり、家庭・地域等において幅広く活用したりすることができるようにすることを目指しています。

数学に関する内容としては、数学の学びを社会生活で活用する場面として、統計に関する学習を充実させていくことが重要であると、し、「理数探究」の新設なども踏まえて、「数学活用」を発展的に廃止するとともに、「数学C」を新設するなど科目構成の見直しが図られます。「理数探究」は、教科の枠にとらわれない多面的・多角的な視点で事象を捉え、数学や理科における「見方・考え方」を活用しながら、「課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」のプロセスによる探究的な学習を行い、新たな価値の創造に向けて粘り強く挑戦する科目です。都立高校では、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定された5校に加え、平成27年度から理数イノベーション校3校、平成28年度から理数アカデミー校1校を指定し、探究を取り入れた教育活動や、大学や企業などの外部専門機関と連携した教育活動を行っております。これらの学校の取組を発信していきますので、数学の分野でも探究活動の推進に取り組んでいただきたいと思います。

次に、今後の展開について2点お伝えします。

1点目は、評価に関することです。観点別評価については、小・中・高等学校の各教科を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されていきます。教員と生徒が、評価に関する情報を十分共有し、前時の学びから生徒がどのように成長しているか、より深い学びに向かっているかを捉えられるような評価の在り方の研究を進めていきます。

2点目は、学習形態の工夫に関することです。問題を解く楽しみに加え、他の生徒に教えること、皆で考えること、他の生徒の考えを聞くことなど学習形態の工夫が必要です。年間指導計画の中に、どの場面でのどのような指導をするのかという視点を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら問題解決に取り組む場面などを作るよう、自校での生徒の実態を踏まえて、アクティブ・ラーニングの視点をもった授業展開を意識していただけだと思います。

次期学習指導要領は、来年度中に告示され、平成34年度から、年次進行で全面实施される予定です。

東京都高等学校数学教育研究会の皆様には、東京都教育委員会の推進する授業改善の取組を一層進めていただくとともに、次期学習指導要領の趣旨に沿った視点から数学教育の在り方についての研究を進めていただき、数学教育の発展に御尽力くださいますようお願い申し上げます。

## 東京都教職員研修センターだより

研修部専門教育向上課 指導主事 大塚 朝実

教職員研修センターでは、数学教育の更なる充実を図るため、平成28年度は、研修内容を整理し、研修講座の拡充と再編成を行いました。具体的には、児童・生徒の実態に応じた指導を行うために、学校種ごとに講座を分けました。また、国の動向や都の施策を踏まえ、今の子供たちに必要な算数・数学教育に対応した研修内容としました。その結果、平成27年度と比較して、どの学校種も受講者が増加するなどの成果がありました。

昨年12月21日に、中央教育審議会から「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が出されました。これを受けて、教職員研修センターは、現在の学習指導要領の内容を踏まえつつ、「主体的・対話的で深い学び」等、改訂のポイントを押さえ、先生方に、これからの算数・数学教育に必要な知識・理解を深めていただく研修を実施します。

また、引き続き、個に応じた指導の充実を図るため、学校種ごとの研修を実施します。算数・中学校数学では、習熟度別指導ガイドラインの理解や東京ベーシック・ドリルの活用を踏まえて、指導の充実を目指した研修を実施し、高等学校数学では、都立高校学力スタンダード等に基づいた授業改善の更なる充実を図る研修を実施します。

研修名を整理すると以下ようになります。

平成 28 年度		平成 29 年度
算数Ⅰ（小・特）	➡	算数ⅠA（小・特）
数学Ⅰ（中・特）		算数ⅠB（小・特）
数学Ⅰ（高・特）		数学ⅠA（中・特）
算数Ⅱ（小・特）		数学ⅠB（高・特）
数学Ⅱ（中・特）		算数Ⅱ（小・特）
数学Ⅱ（高）		数学ⅡA（中・特）
数学Ⅱ（都数研連携）		数学ⅡB（高）
算数Ⅲ（小・特）		数学ⅡC（都数研連携）
数学Ⅲ（中・特）		算数Ⅲ（小・特）

この他に、進学指導Ⅲの研修において、引き続き高大接続改革及び都立高校改革推進計画を踏まえ、進学指導の充実を図る研修を実施します。

東京都教育委員会では、平成29年度から、先生方が教職生活全体を見直し、自らのキャリア形成や研修履歴等を確認することで、資質・能力の向上を図り、研修計画を促すことを支援する「マイ・キャリア・ノート」を新たに導入します。専門性向上研修の研修申込みについても、「マイ・キャリア・ノート」から行います。詳細は、研修案内等を御覧ください。

先生方には、教職員研修センターの研修と「マイ・キャリア・ノート」を活用していただき、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質・能力を高め、東京都の教育に必要な指導力を一層培っていただくことを期待しています。